

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 菊池 隆		
健福-37	重点事業	救急医療対策事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の急病などに対応するため。
効果	休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日、夜間に地域医療センターで小児科を含む内科の急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に加え、繁忙期(12月～2月)の日曜日及び祝日も二科体制での診療を行い、小児救急体制を充実させた。</li> <li>・緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。</li> <li>・市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(9時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。</li> <li>・休日昼間に歯科急患診療を行った。また、毎週木曜に障害者歯科診療を行った。</li> <li>・鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民に係る救急医療に関し発生した損失医療費については、申請がなく、補助金の交付は行わなかった。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	174,174	166,655	当初予算(千円)	173,024		
	国県支出金	4,781	4,740	国県支出金	5,195		
	地方債	0	0	地方債	0		
	その他	636	1,534	その他	1,534		
	一般財源	168,757	160,381	一般財源	166,295		
	人員配置数	0.8	0.8	人員配置数	0.8		
	人件費(千円)	6,185	6,305	人件費(千円)	6,207		
事業経費運営	総事業費(千円)	180,359	172,960	総事業費(千円)	179,231		
	市民1人当りの経費(円)	1,022	981	市民1人当りの経費(円)	1,016		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	休日夜間急患診療所について、ゴールデンウィーク、年末年始並びに12月から2月の日曜日及び祝日に二科体制で効率よく診察できるように、レイアウトの見直しを行う。
	事業へ統合				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	休日夜間急患診療所において、ゴールデンウィーク、年末年始並びに12月から2月までの日曜の内科及び小児科患者数が増えているため。
----------	---	--------------------	---

総評(評価に対する考え方、根拠等)	休日夜間急患診療所及び障害者歯科診療所は、その性質上民間などが参入する可能性も低く、市民のニーズも高いことから、今後も体制を整えていく必要がある。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	(休日夜間急患診療所)二科体制を効率的に行うための診療室の整備について、医師会と調整していく必要がある。 (口腔保健センター)平成30年度から診療時間の一部短縮を行った休日急患歯科診療及び平成30年2月から開始した障害者歯科診療について、患者数等の状況を見ながら、歯科医師会と引き続き詳細な協議・調整を行っていく。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	(休日夜間急患診療所)診療室の整備について、協議を継続した。 (口腔保健センター)障害者歯科診療について、診療体制や開設時間の協議を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	(休日夜間急患診療所)二科体制を効率的に行うための診療室の整備について、医師会と調整していく必要がある。 (口腔保健センター)休日急患歯科診療所について、その需要を鑑み、今後のあり方について協議を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成30年度休日夜間急患診療所の小児患者(上段:小児患者数/下段:患者のうち小児患者の占める割合)(藤沢市及び逗子市は平成29年度の実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	1,235人	11,054人	8,669人	587人				
	54.6%	47.0%	39.1%	7.8%				
比較事項	平成30年度障害者歯科診療の延べ患者数及び実施日数(藤沢市、平塚市及び逗子市は平成29年度の実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	229人	4,358人	1,321人	338人				
	47日	194日	97日	95日				
比較事項	平成30年度休日急患歯科診療の患者数(藤沢市、平塚市及び逗子市は平成29年度の実績)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	215人	563人	359人	211人				
	73日	72日	72日	72日				
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	(休日夜間急患診療所)休日夜間急患診療所における小児科診療のニーズに対応するため、今後も高い配置率を維持する必要がある。 (口腔保健センター)障害者歯科診療において、今後予測される患者数増に対応していくためにも、歯科医師会と協議を行っていく必要がある。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	休日夜間急患診療所の小児科医配置率						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0				
	実績値	46.7	60.5	68.3	67.3	68.9					
	達成率	93.4%	100.8%	97.6%	84.1%	76.6%					
指標の内容	休日急患歯科診療の患者数(平成29年度以降は障害者歯科診療も含む。)						単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
休日急患歯科診療及び障害者歯科診療について、それぞれのニーズの推移を見ながら歯科医師会と診療日数、診療時間等の調整を図っていくため	目標値	300	300	300	300	300	300				
	実績値	284	249	222	216	444					
	達成率	94.7%	83.0%	74.0%	72.0%	148.0%					
指標の内容	休日夜間急患診療所の小児患者数						単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	-	-	-	-	1,500	1,600				
	実績値	880	1,169	1,160	1,433	1,235					
	達成率	-	-	-	-	82.3%					

指標の内容	障害者歯科診療の患者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成30年2月開設(29年度は5日、30年度は47日は診療を実施)		
障害者歯科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	-	-	-	10.0	141	240			
	実績値	-	-	-	11	229				
	達成率	-	-	-	110.0%	162.4%				
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<p>(休日夜間急患診療所) 休日夜間急患診療所の患者数に占める小児患者数の割合は、他市との比較においても高い水準で推移している。平成30年度は、ゴールデンウィーク、年末年始並びにインフルエンザ等が流行する12月から2月の日曜日及び祝日に小児科医の配置を追加し、二科体制での診療を強化する。</p> <p>(口腔保健センター) 鎌倉市歯科医師会に加入している20以上の診療所が休日に診療を行っている現状があることから、休日急患歯科診療の目標値は据え置き、事業の縮小を検討していく。一方で、障害者歯科診療は、鎌倉市口腔保健センターの建物がバリアフリーであり、患者が利用しやすい環境となったことから、患者数の増加が見込まれる。</p>									